

古着伝言板



〒232-0017

横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101

Tel. 045-710-6507 Fax. 045-710-6508

ホームページ:<http://www.fiber.jp>

発行：ファイバーリサイクルネットワーク

ゆっくりですが一歩ずつ確実に進めています、新たな楽しい出会いもありました！

今年の梅雨は猛烈に暑い日が続き、扇風機を三台フル稼働しても追いつかない位 FRN 事務所内は猛烈に暑く、作業日に参加の皆さんは大汗をかきながらの作業でした。本当にお疲れ様でした。また梅雨が明けてから降り続いた豪雨は各地に甚大な被害をもたらしました。被害にあわれた地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます

今年も早くも9月下旬となってしまいました、2月「FRN 報告会」「ごんばち 2月ギャラリー」、4月「春のリサイクルきものフェア」、5月地域小学校の放課後キッズに布花カーネーションの講習（この講習はとても好評で二回目の講習を行いました）、6月「ナカノ（株）秦野工場見学」と足柄地区連絡会「紋蔵」とあじさい祭りを見学、明治学院大学の学生を受け入れた「1day for others」、7月の「夏のリサイクルきものフェア」二日間、そして下旬に行った和布講習会が無事に終了ホッと一息を着くことができました。またこの間にも、月6回～8回「事務所作業日」を設定しながら作業も進めてきました。この様に休むことなく一つまた一つと進めて、早くも一年の活動予定3分の2が終わりました。

8月の夏休み開けと共に今は「秋のリサイクルきものフェア」10月24日（火）開催と「ごんばち10月ギャラリー」の準備を進めています。この準備の進め方も、昨年からの支援登録（ボランティア）の皆さんに、回収や全国から集まった和服類の活用の流れをより理解してもらうために、いろんな作業に関わってもらっています。「リサイクルきものフェア」を開催するまでの準備が主ですが、並行して着物、帯、はぎれ小物類も更に分類して、誰が見てもわかる様に表示もしています。そうすることで今後様々なイベントなどの準備もよりしやすくなり、慣れない方も対応できると考えたからでした。まだ26年のFRN活動は、やはり皆さん一人一人のご協力で続けられているといつも感謝しております。そして、その皆さんにFRNに来て楽しい！と思って頂ける工夫をしながら、これからも活動の歩みを止めることなく進めて行きますので、ご協力宜しくお願い致します。

＜うれしい出会いの紹介＞

先日「ごんばち10月ギャラリー」の打ち合わせでお店に行った際、「イマジン盆踊り部」の方と嬉しい出会いがありました。鎌倉や横浜周辺在住の30代～50代がメンバーとの事でした。世界平和の輪を描くことを盆踊りで・・・という想いで、地域に根付いた盆踊りから、まだ見ぬ知らない土地でも踊りで笑顔の花を咲かせたいと活動をして五年目、メンバーは約30名。多い時は60名ほどになるそうです。出会いの日に、9月20日（水）から約一週間10名が（自費）フランスで盆踊りを披露して交流をして来ると聞き、不足している浴衣と帯数点を「きもの支援先登録」をしてもらい、浴衣と帯、手ぬぐい数点の寄付をしました。来所の際「ボランティア説明会」を行い、活動支援者登録を三名の方にして頂きました。

今頃ファイバーの浴衣もフランスで盆踊り交流をしていると思います。帰国したら交流の様子の写真を持って作業に来所予定です。また皆様に楽しい報告が出来ると思います。（赤岡 清子）

25周年記念の会



ファイバーリサイクルネットワーク運動もはや25周年を迎え、お祝いの会が平成28年12月13日に南太田の「フォーラム南太田」大研修室で開催されました。

参加者は20人と数少なかったですが、お茶とお菓子での懇親会は和やかな雰囲気でも話も弾みました。

ナカノ(株)中野会長よりお祝いの言葉をいただけたのは、うれしいことでした。

春のリサイクルきものフェア

4月8日(土)

場所：かながわ県民センター

来場者：410人

夏のリサイクルきものフェア

7月4日(火)5日(水)

場所：フォーラム南太田

来場者：390人



夏のリサイクルきもの

フェアを終えて

今年も夏のリサイクルきものフェアが7月4日(火)5日(水)の2日間にわたりフォーラム南太田に於いて開催し無事取り組むことができました。

今回は会場内の配置を変えてより見やすく販売できたらと工夫しました。窓際は明るさを利用してハギレ、小物を置き、奥正面の舞台側に会計コーナーを中心に順次低いハンガーラックを並べて全体が見渡せるように考慮しました。

今回も大勢の入場者がありその中には神奈川新聞4日当日掲載の記事を見て着た人や記事の切り抜きを手に来場した人等嬉しい出来事もありました。

次に秋フェア開催が迫っています。そこに向かって、スタッフ全員で一つの目的を達成出来るよう協力が不可欠です。みんな着物が好きなのだから！！

鈴木芳子

研修：ナカノ(株)秦野工場に工場見学に行ってきました

6月8日(木) 参加者 16人

長年繊維けん引企業として実績のあるナカノ(株)の秦野工場で選別仕分け等の工場見学をしました。

今回の工場見学は、ワクワクした期待感がありました。私達は蒔田からマイクロバスで秦野市郊外にある工場に直行して、工場長から、繊維リサイクルの現状を色々説明していただきました。

仕事場の様子は、ありとあらゆる古着が搬入され、各ポジションの作業の人が用途を瞬時に見極め、ベルトコンベアに流してテキパキと仕分け作業をしていきました。又、部屋の隅には、いくつかの大きなドラム缶が置かれ、小物類が種類別に分けられていました。1階の出口には、1包 200 kg前後にまとめられた梱包がうず高く積み重ねられており、海外輸出への一梱包の値は、何と 400 円程という安値。安くても「このシステムを維持するため」という願いが込められています。

今回、リサイクル一連の作業工程を見て確かに古着が資源化されて再利用の認識ができたことは、私にとって大きな収穫となりました。まさに「百聞は一見に如かず」で、リサイクルに対しての考え方を改めて納得できました。そして開成町では、たくさんの時季のアジサイを見たり、築 300 年の瀬戸屋敷や紋蔵での作品を見て、古きものの良さを満喫しての充実した一日でした。

庄子 輝子

リサイクルきものフェアに参加したのがきっかけで、5月から FRN に入会しました。着物を選別している中で、ナカノ行きの袋があったので、その工場のことになりました。丁度工場見学があるということで参加してみました。

工場に着いてみると、工場から古着がはみだしてみえました。たくさん回収されているんだ！

リサイクルの説明は小雨が降っていたので、バスの中で、工場役職の方がしてくださいました。「ファイバーリサイクル資源化循環図」のパンフレットに従って 1 時間あまり、詳しく説明してくださいました。回収、選別、再生、久々に頭の中がギッシリ詰まったのを感じました。

工場見学では、建物の中で若い男女が衣類の選別、目方はかり、梱包を手際よくしているのに感心させられました。T シャツ、下着類はきれいだし、上着上下もまだ着て外出できるものも多くあり、自分自身大いに反省する機会になりました。「もったいない婆さん」にならなくては！

堀井 黎子



改築中のナカノ(株)金沢工場の見学は
来春のお楽しみ！

ことしも明治学院大学「1 Day for others」 学生さんを受け入れました

1年ぶりの参加ということで、FRNの活動や古着・古布の行方、それから衣食住のうち衣類が私たちの生活の中でかけがえのない存在であり、基盤となっていることを再度学ぶことができました。まず始めに見たDVDからは、10年ほど前では工場へ送られた古着を130種類に仕分けしていましたが、赤岡さんの補足では現在260種類となっていることを知り、当時から倍以上の種類を機械ではなく人の手で正確に仕分けをしていることに驚きました。ビデオで見た当時と現在ではこの他にどのような変化がみられるのか気になり、ボランティア登録をした学生で実際に工場へ行く機会があれば参加したいと思いました。また、古着を諸外国へ輸出しようとしても、歴史的観点からか受け入れ国が古着を輸入し実際に着ることは日本の支配下に入るという認識になってしまう等、受容されるまでに国際的な難しい課題や壁が存在することを知りました。

仕分けした日本の伝統文化である着物や帯が、FRNが仲介役となって新たな人々へ受け継がれていくリサイクルを素晴らしく感じました。また、昼食時に、リサイクルきものフェアの際に、障がいのある方に着付けをして喜んでもらったというエピソードも聞いてほっこりしました。そしてリサイクルきものフェアが買い手となる方々との交流の場となっていることを実感しました。

1DAY当日は皆様がとてもアットホームな雰囲気迎え入れてくれたので参加学生もすぐに緊張がとれ、様々な作業を通して学年を問わず仲良く活動ができていたと感じました。昨年度にはないカーネーション作り等新たなプログラムを組んで頂き、私自身作成に苦戦したものの、とても楽しく活動することができました。プログラム終了後に行った学生のみでの振り返り会では、リサイクルに関するイメージや意識が変わった、家族や友人にFRNの活動を伝えていきたいといった声を多く聞くことができ、良かったと思います。最後に、今年度は1DAYの活動のみに限らずFRNの皆様と戸塚祭りを通し活動ができて非常に嬉しかったです。戸塚祭りではフリーマーケットという形式で、希望していた古着の回収が行えず残念でした。今回の1DAYや戸塚祭りの活動を経てできたつながりを大切に、ボランティアに力を入れている明治学院としては、回収ボックスを製作し学校に設置することが出来れば学生側としても気楽にできる、身近なボランティアとしてFRNやリサイクルへの認知を学生に広めることが可能になるのではないかと思います。筒井 佑夏

先日は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

普段、着物とふれあいたくてもふれあうことができないので、FRNさんのところでたくさんの着物を一度に見ることができとても良い機会でした。

今回は帯の種類分けの手伝いをさせていただきました。最初は種類がわからず、どうしたらよいのかと思いましたが、種類や違いを教えていただき、最終的には帯を見てわかるようになりました。体験させていただく前は大人用と子供用（へこおび）で分かっているだけかと思っていましたが、体験を通じて、それだけじゃないことが分かりました。

また、最初に見せていただいたビデオにて、どんな繊維でもリサイクルできると知り、新しく学ばせていただきました。とても良い体験をありがとうございました。
鈴木 七海



明治学院大学のメンバーの皆さん

6月18日（日）9人参加

ファイバーリサイクルネットワーク（FRN）は法人格を取っていませんがNPO団体です。
行政や企業からの援助などは受けず、経済的に自立している団体です。